

世界に「ただひとつ」の美しい蒔絵。
「能作一美」は、お客様の様々な
ご要望をカタチにします。



マンハッタン蒔絵 中次
直径6.2×高さ7.8cm

ニューヨークから京都へ茶道の勉強に来日されていた方からのご注文品です。マンハッタンの夜景を卵殻・螺鈿を使用した蒔絵で表現しました。



▲本堂



▲松の木

加賀蒔絵 寺院 硯箱
28.5×22.5×高さ5.0cm

長野県にある寺院の住職さんからのご注文品。現地に出向いて本堂と山門脇の松を中心に硯箱に蒔絵を施しました。

石川県は輪島塗・山中塗、そして金沢漆器とあらゆる漆芸が集う地域です。能作のオーダーメイドは、その中心地・金沢だからこそできる他にはない世界に一つだけの漆器を製作いたします。お気に入りの景色や、思い出の風景を、あなただけの漆器に残しませんか。



富士山蒔絵

富士山蒔絵 洗朱 座卓
80×128×高さ32cm

東京都在住のフランス人の方からのご注文品。テーブルの朱色・サイズ・卵殻を施した富士山の蒔絵をご希望のデザイン通り製作致しました。





漆・漆器 = SDGs

近年、どの場面でもよく耳にするようになったSDGs（エス・ディー・ジーズ）。現在、世界各地で大きな災害や異常気象が続いており、地球全体が気候の変動による危機的な状況に直面しています。

このSDGsという言葉は「持続可能な開発目標」という意味を持ち、私たちが暮らす地球を将来の世代へ繋げるために取り組むべき『17の目標』として作られました。



漆（樹液）を採取している様子



漆器製作（下地塗り）

「漆器」は天然の木と漆を用いて製作されています。ウルシノキという木から採れる漆（樹液）は環境への負担が低いSDGsに適した素材です。

弊社は、安永九年（1780年）創業以来漆を販売し、漆器は製造から販売までを一貫して行い末永くご使用頂けるよう、漆器の修理も承っております。

漆器は百年使えます

漆器は塗り直しなどの修理をしながら末永く使うことができます。漆器を使うことは「環境を汚染しない」「ゴミを減らせる」などのサステナブルにつながります。

自然の恵みを上手に活かし、物を大切に長く使う日本の文化は、日々の暮らしの中で価値観や感謝の気持ちを育みます。



山中塗 4.5寸 椿碗
直径13.0×高さ7.5cm ¥16,500（税込）



加賀蒔絵 扇面 煮物碗
直径13.5×高さ10.2cm ¥132,000（税込）

漆による陶磁器の修理「金継ぎ」

ご存知でしょうか。陶磁器などの修復も、漆の塗師・蒔絵師が行います。

漆は塗料のほか、接着剤や硬化剤といった様々な分野に応用できる優れた特性を持っています。一度固まった漆の塗膜は、熱や湿度に強く、ほぼガラスと同じような硬度があると言われています。金沢で鍛えぬかれた職人の技術による「金継ぎ」で、あなたの大切な品物を修復致します。

▼ 漆器の修理：汁碗（無地）



▼ 金継ぎの修理

